

令和5年度 全国大学入学者選抜研究連絡協議会大会（第18回） プログラム

期 日 : 令和5年5月18日（木）～20日（土）

開催方法 : Zoomによるオンライン開催

主 催 : 独立行政法人大学入試センター

共 催 : 北海道大学

後 援 : 文部科学省, 一般社団法人国立大学協会, 一般社団法人公立大学協会,
日本私立大学団体連合会, 全国公立短期大学協会, 日本私立短期大学協会

日 程 :

日 程	プログラム	時 間
【1日目】 5月18日 (木)	全体会1（センターセミナー） 「CBT(Computer Based Testing)における 大学等機関の有機的な連携に向けて」	13:00 ～ 16:00
	全体会1（ミニセッション） 「大学入試研究ジャーナルの更なる充実 に向けて」	16:30 ～ 17:15
【2日目】 5月19日 (金)	主催者挨拶, 来賓挨拶	9:40 ～ 10:00
	全体会2 「国際入試の現状と展望」	10:00 ～ 12:30
	全体会3 「総合型・学校推薦型選抜における多面的・総合的評価の充実に向けて」	14:00 ～ 17:00
【3日目】 5月20日 (土)	研究会 オープンセッション（第1部）	
	第1セッション	9:30 ～ 12:00
	第2セッション	9:30 ～ 12:00
	第3セッション	9:30 ～ 12:00
	オープンセッション（第2部）	
	第4セッション	13:30 ～ 16:00
	第5セッション	13:30 ～ 16:00
	第6セッション	13:30 ～ 15:40
	研究会 クローズドセッション（第1部）	9:30 ～ 12:00
クローズドセッション（第2部）	13:30 ～ 17:10	
交流の場	(研究会各セッション 終了後30分間)	

(参考) 2022年度 5月26日(木)～28日(土) 明治大学(Zoomによるオンライン開催)
2021年度 5月20日(木)～22日(土) 福岡大学(Zoomによるオンライン開催)
2020年度 新型コロナウイルス感染拡大等の状況を踏まえ, 開催中止

全体会 1 (センターセミナー)

「CBT(Computer Based Testing)における 大学等機関の有機的な連携に向けて」

日 時 : 令和5年5月18日(木) 13:00~16:00

会 場 : Zoomウェビナー

司 会 : 寺尾 尚大(大学入試センター研究開発部准教授)

パネリスト及びサブテーマ:

趣旨説明「大学入学者選抜における CBT の現状と最新動向」

..... 寺尾 尚大(大学入試センター研究開発部准教授)

報告①「佐賀大学の学校推薦型選抜における CBT」

..... 西郡 大(佐賀大学アドミッションセンター長)

報告②「九州工業大学の総合型選抜における CBT」

..... 播磨 良輔(九州工業大学情報基盤課長)

報告③「大学入試センターにおける令和7年度入試に向けた試行調査の遠隔実施事例」

..... 堀越 健一郎(大学入試センター事業部事業第一課試験実施第三係長)

報告④「大阪大学の調査研究における CBT システム」

..... 萩原 兼一(大阪大学 名誉教授/大学院情報科学研究科招へい教授)

報告⑤「国際技術標準に準拠した出題モジュールの開発・評価」

..... 宮澤 芳光(大学入試センター研究開発部准教授)

..... 水野 修治(大学入試センター試験問題調査官)

報告⑥「電気通信大学における CBT の取り組み」

..... 植野 真臣(電気通信大学大学院情報理工学研究科教授)

内 容 :

近年、民間の学力試験・資格試験においては、コロナ禍の影響も手伝って、コンピュータを用いたテスト(Computer Based Testing、CBT)が注目されている。大学入学者選抜においても、複数年にわたってCBTを導入する先駆的な大学・選抜区分がいくつかある。

大学入試センターが令和3年3月に公表した報告書「大規模入学者選抜におけるCBT活用の可能性について(報告)」(以下「令和3年報告」という。)では、現行の共通テストのような大規模入学者選抜でCBTを行う場合、全国的に均質で質の高い受験環境の確保、トラブルが生じた場合の対応体制の構築、新しい試験のあり方に対する受験者を含めた社会の理解の3点が、実施上の主な課題であることを浮き彫りにした。同年7月に公表され

た大学入試のあり方に関する検討会議の提言では、CBTの優れた点を多数挙げながら、各大学の個別試験や総合型選抜・学校推薦型選抜における望ましい先行事例を拡大することの必要性も提言された。そして、翌年6月にはセンターより「個別大学の入学者選抜におけるCBTの活用事例集」を公表した。本事例集の作成過程において、CBTに取り組む大学が直面する課題には共通性があり、これらの大学が知見を共有することでCBT実施に伴う困難を軽減できるのではないかという示唆を得たところである。そこで本セッションでは、CBTに取り組む大学に、受験環境、トラブル対応体制、新しい試験に対する社会の理解等の試験実施上の課題について、その対応方法を発表いただくとともに、他の大学や機関と連携することでそれらの課題をさらに克服できる可能性について議論いただく。本セッションを通じて、CBTに関する知見を共有するプラットフォームを提供するとともに、CBTの実施に関する知見を複数大学・機関で共有し、入学者選抜でのCBTを活用する際の課題を共同で克服するための仕組みの構築の足がかりとしたい。

全体会 1（ミニセッション）

「大学入試研究ジャーナルの更なる充実に向けて」

日 時 : 令和5年5月18日（木） 16:30～17:15

会 場 : Zoom ウェビナー

司 会 : 山地 弘起（大学入試センター試験・研究統括官,
全国大学入学者選抜研究連絡協議会企画委員会副委員長）

説 明 : 石岡 恒憲（大学入試センター研究開発部長,
全国大学入学者選抜研究連絡協議会編集専門委員会委員長）
椎名 久美子（大学入試センター試験・研究副統括官,
全国大学入学者選抜研究連絡協議会編集専門委員会委員）

内 容 :

全国大学入学者選抜研究連絡協議会企画委員会では、大学入学者選抜の研究をより積極的に支援すべく、従来の大会や刊行物のあり方などの見直しを行っている。そのなかで、大学入試研究ジャーナルに関しても、より充実した内容となるよう、かつより効率的に編集作業が進むよう、いくつかの新たな方針を提案したいと考えている。本セッションでは、4年前の第14回大会で行った「大学入試研究ジャーナルの充実に向けて」の続編として、この間の検討を踏まえた本ジャーナルの投稿や査読における変更予定を共有するとともに、投稿や査読の際の留意点を確認しておきたい。またこの機会に、参加者の方々と本ジャーナルの編集のあり方について自由な意見交換ができることを願っている。

全体会 2

「国際入試の現状と展望」

日 時 : 令和5年5月19日(金) 10:00~12:30

会 場 : Zoomウェビナー

司 会 : 池田 文人(北海道大学教授)・岩間 徳兼(北海道大学准教授)

パネリスト及びサブテーマ:

報告①「APUにおける国際入試～留学生リクルート事情とポスト・コロナの日本留学～」

..... 大嶋 名生(立命館アジア太平洋大学アカデミック・オフィス課長)

報告②「公立大学における国際入試への取り組み」

..... 中島 範行(富山県立大学教授)

報告③「北海道大学における国際入試の改革と今後の展望」

..... 飯田 直弘(北海道大学高等教育推進機構准教授)

報告④「IB校である札幌開成中等教育学校のキャリア教育はなぜ大きな挑戦なのか？」

..... 西村 里史(市立札幌開成中等教育学校副校長)

内 容 :

大学進学率の向上により大学の大量化が進む一方で、急激な少子化の影響で定員割れを起こす大学も出てきている。また、政府は大学のグローバル化を進め、研究・教育における国際競争力の強化を推進する一方で、国際バカロレア(IB)の教育プログラムを導入する高校を増やそうとしている。このような状況の中で、日本の教育の国際的通用性を確保するために、海外の優秀な留学生や帰国子女、IBのディプロマプログラムの修了者に対して適切な選抜を行うことが重要となる。

そこで本全体会では、国公私立大学のそれぞれの立場において、国際入試を中心とした国際化への取り組みと展望について話題提供するとともに、高校の側からIB校における国際入試への対応の現状と課題について話題提供する。国際入試の対象としては、留学生のみならず、帰国子女や、国内のIB等の国際的な教育の修了者なども含む。

話題提供の後、参加者からの質問に基づき、話題提供者を交えてパネルディスカッションを行い、国際入試の現状について理解を深めるとともに、今後の国際入試に関する各大学の取り組みの課題とその解決策について議論する。

全体会 3

「総合型・学校推薦型選抜における多面的・総合的評価の 充実に向けて」

日 時 : 令和5年5月19日(金) 14:00~17:00

会 場 : Zoomウェビナー

司 会 : 川嶋 太津夫(大阪大学特任教授)
庄島 宏二郎(大学入試センター教授)

パネリスト及びサブテーマ:

報告①「総合型・学校推薦型選抜における基礎学力の評価方法」

..... 椎名 久美子(大学入試センター試験・研究副統括官, 研究開発部教授)

報告②「基礎学力以外の意欲・関心・態度の効率的・効果的な評価方法」

..... 竹内 正興(香川大学アドミッションセンター教授)

報告③「探究学習等の成果の評価方法」

..... 本郷 真紹(立命館大学文学部特命教授)

内 容 :

2022年の出生数は、初めて80万人を下回り、2005年の「我が国の高等教育の将来像(答申)」の予測を10年余りも上回る速さで少子化が進行している。そのため、大学・短大進学率及び入学定員が現在と変わらなければ、理論的には2040年には「大学全入」が実現する。一部の大学では「選抜」が機能するであろうが、多くの大学が志願者の希望とアドミッション・ポリシーのマッチング(相互選択)により、志願者を受け入れる、文字通りの「アドミッション」に変わっていくものと考えられる。

実際、現在でもすでに私立大学入学者の半数以上が、総合型・学校推薦型、いわゆる「年内入試」で進学している。一般選抜が中心の国公立大学も、18歳人口減に合わせて入学定員を減少させない限り、選抜性は大幅に低下するであろう。事実、2024年度入試における国立大学の総合型・学校推薦型の募集割合は19.6%、公立大学のそれは30.8%に達しており、今後その比率は増加するものと思われる。これまでも「選抜から相互選択へ」と言われてきたが、それがまもなく現実になり、従来以上に総合型・学校推薦型の比重が高まると予想される。

相互選択としての入学者「選考」に変われば、アドミッション・ポリシーをより一層明確にし、求める人材像、入学時まで備えておくべき資質・能力をより具体的に提示し、それらを適切に評価する必要がある。加えて、入学後のミスマッチを防ぐためにも、大学の教育情報公表を充実させなければいけない。

そこで、全体会 3 では、総合型・学校推薦型選抜で、基礎学力、学力以外のいわゆる非認知的特性及び高等学校での探求学習の成果を適切かつ的確に評価するための課題及び方策について3名の有識者から報告を行うとともに、大学入試における多面的・総合的評価の充実に資する議論を行いたい。

研究会（オープンセッション）

【第1セッション】〔総合型選抜，学校推薦型選抜〕

日 時：5月20日（土）9：30～12：00 （交流の場：～12：30）
会 場：Zoomによるオンライン開催
司 会：大久保 貢（福井大学）・寺尾 尚大（大学入試センター）

発 表：

① 9：30～9：50

「高校の探究学習の支援と高大接続入試
——教育学部嶺南地域枠入試の設計と導入——」
大久保 貢，田中 幸治，三浦 麻（福井大学）

② 9：50～10：10

「情報系学部における総合型選抜・学校推薦型選抜の類型化」
樽松 理樹，天野 哲彦（岩手県立大学）

③ 10：10～10：30

「スポーツ推薦入学者の進路形成に関する試論」
長谷川 誠（神戸松蔭女子学院大学），黒田 真二（中京大学）

④ 10：30～10：50

「国立教員養成大学・学部における『地域枠』選抜の現況分析」
山田 美都雄（宮城教育大学）

（10：50～11：00 休憩）

⑤ 11：00～11：20

「九州工業大学における多面的・総合的な入試の制度設計検証Ⅱ」
木村 智志，花堂 奈緒子，進藤 明彦，播磨 良輔，大石 哲也，安永 卓生（九州工業大学）

⑥ 11：20～11：40

「教員によるフィードバックを取り入れた非同期型オンライン入学前教育の実践とその課題」
三井 規裕（桃山学院大学），森川 修，山根 俊喜（鳥取大学）

⑦ 11：40～12：00

「シンポジウム『大学入試における危機対応：災いと禍を乗り越える』のプレイバック
——これまでの危機に学び、まだ見ぬ災禍に備える——」
寺尾 尚大，内田 照久（大学入試センター），石井 秀宗（名古屋大学），
林 篤裕（名古屋工業大学），中村 裕行（愛媛大学），立脇 洋介（九州大学），
西郡 大（佐賀大学），宮本 友弘，久保 沙織，倉元 直樹（東北大学）

● 12：00～12：30

研究発表者と参加者との交流の場

【第2セッション】〔入試広報〕

日 時：5月20日（土）9：30～12：00 （交流の場：～12：30）
会 場：Zoomによるオンライン開催
司 会：立脇 洋介（九州大学）・宮澤 芳光（大学入試センター）

発 表：

① 9：30～9：50

「入試改革と学習指導要領の改訂が高校生の学習行動に及ぼす影響」
立脇 洋介（九州大学）

② 9：50～10：10

~~「留学生向けの広報活動
——九州大学の取組み——」
翁 文静，立脇 洋介（九州大学）（発表取消し）~~

③ 10：10～10：30

「高校生の大学選択に対する COVID-19 の影響
——情報収集活動を中心に——」
林 如玉，倉元 直樹（東北大学）

④ 10：30～10：50

「学生募集広報へのマーケティング理論の援用の可能性」
喜村 仁詞（岡山県立大学）

（10：50～11：00 休憩）

⑤ 11：00～11：20

「WEB型オープンキャンパス参加者の大学選択行動
——K大学入学者の情報参考度と出願校決定時期に着目して——」
竹内 正興（香川大学）

⑥ 11：20～11：40

~~「日本語学校外国人留学生の日本の大学への進学行動と定着についての研究」~~
「日本語学校外国人留学生の留学国決定要因と定着に関する研究」
三好 登（広島大学）

⑦ 11：40～12：00

「入試広報活動における地域（サテライト）オフィスの役割と課題
——広島大学高大接続・入学センター地域オフィスを事例として——」
森島 久幸，杉原 敏彦，村田 豊治，永田 純一（広島大学）

● 12：00～12：30

研究発表者と参加者との交流の場

【第3セッション】〔アドミッション・ポリシー，志願者動向，入試方式〕

日 時：5月20日（土）9：30～12：00 （交流の場：～12：30）
会 場：Zoomによるオンライン開催
司 会：齋藤 朗宏（北九州市立大学）・伊藤 圭（大学入試センター）

発 表：

① 9：30～9：50

「フランス高等教育進学制度の現状と課題」
阿部 和久，久保 沙織，倉元 直樹（東北大学）

② 9：50～10：10

「国立大学における『アドミッションセンター』の現在地」
倉元 直樹（東北大学），池田 文人（北海道大学），永田 純一（広島大学），
大谷 奨（筑波大学），佐藤 喜一（九州大学），田中 克己（岡山大学），久保 沙織，
宮本 友弘（東北大学），西郡 大（佐賀大学），竹内 正興（香川大学），
長濱 裕幸（東北大学）

③ 10：10～10：30

「大きく入り試下における3ポリシーの現状について」
齋藤 朗宏（北九州市立大学）

④ 10：30～10：50

~~「東北大学における中国語版及び韓国語版動画コンテンツの開発と評価」~~
~~「東北大学における入試広報コンテンツの多言語化の試みと評価~~
~~——中国語版を中心に——」~~
南 紅玉（札幌医科大学），宮本 友弘（東北大学），翁 文静（九州大学）

（10：50～11：00 休憩）

⑤ 11：00～11：20

「本学志願者の居住市町村ごとの特徴と変化」
齋藤 太郎（山梨大学）

⑥ 11：20～11：40

「大学入試における学外試験会場の設置に関する考察」
山田 貴光（富山大学）

⑦ 11：40～12：00

「大学入学共通テスト利用大学における入試改善に向けた取り組みの状況」
伊藤 圭，桜井 裕仁，荒井 清佳，椎名 久美子（大学入試センター），
大塚 雄作（国際医療福祉大学），花井 渉（九州大学）

● 12：00～12：30

研究発表者と参加者との交流の場

【第4セッション】〔段階評価, 多面的評価〕

日 時：5月20日(土) 13:30～16:00 (交流の場：～16:30)
会 場：Zoomによるオンライン開催
司 会：西郡 大(佐賀大学)・荒井 清佳(大学入試センター)

発 表：

① 13:30～13:50

「大学入学共通テストの段階表示を用いた新入試の設計」
森川 修, 三井 規裕, 山根 俊喜(鳥取大学)

② 13:50～14:10

「面接方法の改善に向けた『コンピテンシー面接』の導入」
大塚 智子, 関 安孝, 藤田 博一, 武内 世生, 瀬尾 宏美(高知大学)

③ 14:10～14:30

「信州大学における調査書の学習成績概評を利用した主体性評価の影響」
一之瀬 博, 小暮 克哉, 平井 佑樹(信州大学)

④ 14:30～14:50

「観点別評価は大学入学者選抜に利用可能か
——高校を対象とした調査より——」
永野 拓矢, 寺寫 裕登, 橘 春菜, 石井 秀宗(名古屋大学)

(14:50～15:00 休憩)

⑤ 15:00～15:20

「高等学校における観点別学習状況の評価と高大接続」
大谷 奨, 島田 康行, 本多 正尚, 松井 亨(筑波大学)

⑥ 15:20～15:40

「そもそも日本の入試では何を問うべきなのか? 医師/コーチの視点から俯瞰的に考え直す」
神楽坂 やちま(獨協医科大学)

⑦ 15:40～16:00

「CBTにおける出題の在り方に関する検討
——『ヒント問題』の可能性に注目して——」
西郡 大(佐賀大学)

● 16:00～16:30

研究発表者と参加者との交流の場

【第5セッション】〔高大接続, 高大連携〕

日 時：5月20日（土）13：30～16：00 （交流の場：～16：30）
会 場：Zoomによるオンライン開催
司 会：山本 以和子（京都工芸繊維大学）・内田 照久（大学入試センター）

発 表：

① 13：30～13：50

「信州大学共通教育科目『高大接続におけるデータサイエンスゼミ』の開講とその成果」
平井 佑樹, 一之瀬 博（信州大学）

② 13：50～14：10

「高大接続事業『医学部体験授業』の効果の継続性」
山田 恭子, 高山 千利, 清水 千草, 田中 寛二（琉球大学）

③ 14：10～14：30

「熊本県における高大連携活動の新展開」
平 英雄, 市川 聡夫, 飯田 裕（熊本大学）

④ 14：30～14：50

「高大接続改革に係る入学前教育の実施状況と課題」
山本 以和子（京都工芸繊維大学）, 林 寛子（山口大学）,
花堂 奈緒子（九州工業大学）, 當山 明華（長崎大学）, 陣内 未来（九州大学大学院）

（14：50～15：00 休憩）

⑤ 15：00～15：20

「高大連携活動に対する価値評価が大学生活の認識に与える影響
——大学生を対象とした調査結果より——」
橘 春菜, 永野 拓矢, 寺嶋 裕登, 石井 秀宗（名古屋大学）

⑥ 15：20～15：40

「大学入学共通試験への教科『情報』追加の経緯に関する考察」
吉田 翔太郎（山梨大学）

⑦ 15：40～16：00

「共同研究プロジェクト『入学定員管理の厳格化の影響に関する多角的検討』の
中間地点とその課題」
福島 真司（大正大学）, 柳浦 猛（筑波大学）, 日下田 岳史（大正大学）,
山地 弘起（大学入試センター）

● 16：00～16：30

研究発表者と参加者との交流の場

【第6セッション】〔選抜方法，入学後の教育〕

日 時：5月20日（土）13：30～15：40 （交流の場：～16：10）
会 場：Zoomによるオンライン開催
司 会：石井 裕基（東北大学）・桜井 裕仁（大学入試センター）

発 表：

① 13：30～13：50

「大学入学共通テストにおける物理の出題傾向について」
加藤 徳善，倉元 直樹（東北大学）

② 13：50～14：10

「東北大学一般選抜前期日程志願者における現役・浪人の経年変化」
石井 裕基，倉元 直樹（東北大学）

③ 14：10～14：30

「大学入試英語問題における語順整序問題は『英語を書く力』を計ることができるのか
——語順整序・和文英訳・自由英作文の比較から——」
秦野 進一（東北大学）

④ 14：30～14：50

「入学者のAP（Admission Policy）に関する資質・認知と入学後の学修行動・成果の関係」
山田 寛邦，遠藤 健（早稲田大学）

（14：50～15：00 休憩）

⑤ 15：00～15：20

「何が教員志望を止めるのか
——大学生・高校生の進路選択意識調査を通じて——」
杉原 敏彦（広島大学）

⑥ 15：20～15：40

「教育学部保育士養成課程において小学校教員免許をあわせて取得した学生の
成績・進路の傾向」
深谷 和義，小杉 裕子（椛山女学園大学）

● 15：40～16：10

研究発表者と参加者との交流の場

研究会（クローズドセッション）

※クローズドセッションは、大学関係者のみが参加できる企画です。

【第1部】〔選抜方法，英語試験〕

日 時：5月20日（土）9：30～12：00 （交流の場：～12：30）
会 場：Zoomによるオンライン開催
司 会：天野 哲彦（岩手県立大学）・橋本 貴充（大学入試センター）

発 表：

① 9：30～9：50

「令和4年度（2022年度）入試までの受験準備について
——共通テスト2年目の入学生のアンケート調査とその分析——」
岡本 崇宅（香川大学）

② 9：50～10：10

「入試配点設定に関する一考察」
大竹 洋平（宇都宮大学）

③ 10：10～10：30

「2群の試験の一方のみで合否判定を行う場合の方策について」
林 篤裕（名古屋工業大学）

④ 10：30～10：50

「試験科目としての小論文と総合問題の信頼性」
天野 哲彦，樽松 理樹（岩手県立大学）

（10：50～11：00 休憩）

⑤ 11：00～11：20

「共通テストの英語における英語民間試験導入の効果と課題
——広島大学におけるみなし満点方式を申請した志願者分析より（3）——」
永田 純一（広島大学）

⑥ 11：20～11：40

「外部英語検定試験は〈グローバルな資質・能力〉をもたらすか
——グローバルシティズン尺度を用いた分析——」
小林 元気（鹿児島大学）

⑦ 11：40～12：00

「英語の基礎学力を担保する総合試験の研究 2
——2021『志』特別選抜の総合試験に類似したサンプル問題を活用して——」
吉田 健三（神戸大学）

● 12：00～12：30

研究発表者と参加者との交流の場

【第2部】〔高大接続，志願者動向，多面的評価〕

日 時：5月20日（土）13：30～17：10 （交流の場：～17：40）
会 場：Zoomによるオンライン開催
司 会：久保 沙織（東北大学）・荘島 宏二郎（大学入試センター）

発 表：

① 13：30～13：50

「B学部における学校推薦型選抜I・地方創生型（地域産業振興枠）の設計と実施
——入試業務効率化に向けた新たな取り組みを踏まえて——」

植野 美彦，関 陽介，服部 武文，田端 厚之，向井 理恵，岡 直宏，
宇都 義浩（徳島大学）

② 13：50～14：10

「学校推薦型選抜の学生評価をいかにして行うのか
——学内調査の方法の提案と結果の概要——」

植阪 友理，柴 里実，内田 奈緒，石井 徳子，劉 夢思（東京大学）

③ 14：10～14：30

「高大接続広報という新たな領域の可能性
——ポスト入試広報に向けた取組み——」

新藤 洋一（福島大学）

④ 14：30～14：50

「高大連携活動推進におけるIB入試推進室の役割

（Role of the IB Office in promoting High School-University collaboration activities）
Mahmood Sabina（岡山大学）

（14：50～15：00 休憩）

⑤ 15：00～15：20

「地域別の志願者動向の分析」

宮下 伊吉（三重大学）

⑥ 15：20～15：40

「札幌医科大学医学部の入試制度の変遷と志願者の動向および入学者の変化」

三瀬 敬治，南 紅玉，小山内 誠（札幌医科大学）

⑦ 15：40～16：00

「入試安全に向けたリスクマネジメントの現状」

齊藤 正樹，三瀬 敬治，南 紅玉，小山内 誠，佐々木 泰史（札幌医科大学）

（16：00～16：10 休憩）

⑧ 16：10～16：30

「東北大学の一般選抜におけるチェックリストを活用した主体性評価の実施結果について」

宮本 友弘，久保 沙織，倉元 直樹，長濱 裕幸（東北大学）

⑨ 16：30～16：50

「東北大学志願者の調査書を対象とした分析

——評定平均値に着目して——」

久保 沙織，宮本 友弘，倉元 直樹，長濱 裕幸（東北大学）

⑩ 16：50～17：10

「多面的・総合的評価における志望理由と評価観点の分析」

井ノ上 憲司，山下 仁司，川嶋 太津夫（大阪大学）

● 17：10～17：40

研究発表者と参加者との交流の場